

第2回宇宙活動法基準・安全小委員会 議事録

1. 日時：令和4年5月19日（木） 17：00－17：40

2. 場所：内閣府 宇宙開発戦略推進事務局（オンライン）

3. 出席者

（1）委員

久保田座長、渡邊座長代理、稲谷委員、菊地委員、高取委員、
中須賀委員、松尾委員、山本委員

（2）事務局（内閣府宇宙開発戦略推進事務局）

坂口審議官、齊藤参事官、北村参事官補佐、芝井参事官補佐、
前田参事官補佐

4. 議題

（1）「人工衛星の管理に係る許可に関するガイドライン」の中の、分離又は結合時の他の人工衛星の管理への干渉防止に関わる部分の改訂について

5. 議事

○久保田座長 それでは、第2回「宇宙活動法基準・安全小委員会」を開催したいと思います。今回の議題ですけれども「『人工衛星の管理に関わる許可に関するガイドライン』の中の、分離又は結合時の他の人工衛星の管理への干渉防止に関わる部分の改訂について」です。事務局より説明をお願いいたします。

<事務局より資料1～2に基づき説明>

○久保田座長 それでは、委員の皆様から御質問なり御意見がありましたら、ぜひお願いいたします。

○菊地委員 2点質問をさせていただければと思います。1点目につきましては、打上げ前に衝突確率などを確認して打上げることになると、実際に打上げた後に、例えばテザーなどの場合は、伸びなかったり、戻せなかったりというような可能性はあるかと思うのですけれども、その場合、ライフタイムという観点では、少しずれが生じてしまいますが、運用計画と異なる場合には、何らかの変更届みたいなことでも再評価されるのでしょうかという質問が1点目。もう一点目につきましては、テザーの衝突確率がどれくらい、基準面積がどれくらい広がるかというのを一般的に検討するのはなかなか難しいかなとも思いますけれども、その辺、例えばマニュアルであるとか、ほかの方法の計算方法の説明みたいなこと

で、衛星事業者さんがやりやすくなるようなことを実施していく計画はあるかという2点を御質問させていただければと考えています。

○事務局 まず、第1点目ですけれども、テザーが伸ばせなかった、あるいは、伸ばしたまま巻き取れなかった、どちらの可能性も当然あろうかとは思いますが。そちらにつきましては、まず、累積の確率の評価をしていただくに当たって、いろいろなケースを想定した評価を審査させていただくべきだろうとは思っています。それから、2点目ですけれども、JAXAでは衝突確率を計算できるツールを有しており、当面はJAXAが協力してくれると聞いているので、事業者にはJAXAに相談して貰うよう伝えたいと思っております。

○久保田座長 そのほか特に御意見がなければ、事務局が提示したガイドラインの改訂案は問題ないという結論とし、本議題につきましては終了したいと思います。どうも皆様、ありがとうございました。本日の委員会を閉会したいと思います。

以 上